

## 臨床研究に関する情報

当院（当機関）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 抜歯後の骨吸収を抑制し骨量を増加させる骨補填材の臨床的評価

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者所属・氏名] 北海道大学病院口腔内科・宮本 郁也

[研究の目的] 抜歯を行う際に、骨補填材を使用し、骨吸収がどの程度抑えられるのかを画像診断します。現在、厚生労働省の認可を受けたうえで発売されている骨補填材であるボナーク®およびサイトランス®、リフィット®、骨補填材ではありませんが抜歯創用保護材として使用されているテルプラグ®、さらに何も使用せず抜歯した症例を用いて、抜歯前後の画像を比較して検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2024年4月1日～2027年3月31日の期間に北海道大学口腔内科を受診し、抜歯手術が必要と診断されレントゲン、CT撮影、口腔内写真撮影、口腔内スキャナーによる撮影などをおこない抜歯手術を施行した方、抜歯と骨補填材による抜歯創保護手術が必要と診断され、レントゲン、CT撮影、口腔内写真撮影、口腔内スキャナーをなどおこない抜歯手術を施行した方。

○利用する情報

診断名、年齢、性別、身体所見、CT画像、口腔内写真、口腔内スキャナー画像。

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2025年8月8日）～2027年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

2026年2月2日（第1.2版）

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院口腔内科 担当医師 宮本郁也

電話 011-706-4280